

いのちのパン

2007年秋号

帰ってきた放蕩息子

誰かに迷惑をかけてしまったり、怒られて当然のことをしてしまったらどうしようかと、多かれ少なかれ、誰にでもあります。失敗しない人、人に迷惑をかけないで生きている人はいません。ですから、人間にどうし何より必要なのは、互いに赦しあうことです。それなのに、赦しほど、失われているものもないのです。人からは赦されたいと願いつつ、人を赦そうとはしません。人間関係はギスギスして、互いに痛み、孤独や不安の中で多くの人があえいでいます。

なぜ、人は人を赦せないのか。それは、自分が赦されていないからです。赦されていない人は、人を赦すことができません。心満たされて平安に生きていくために必要なのは、赦しです。天丈夫だ。やり直せるよ。私の愛は、あなたの失敗や過ちに關係なく、変わりないよ」と抱きしめられることがあります。そのような赦しは、どうにもありません。

聖書に「放蕩息子」として知られるたとえ話があります。カサ十五章。イエスが人々に話したものです。

ある人に息子がふたりあった。弟が父に、「お父さん、私に財産の分け前を下さしてください」と言った。それで父は、身代をふたりに分けてやった。それから、幾日もたぬうちに、弟は何もかも手放して遠い国に旅立った。そして、放蕩して湯水のように財産を使ってしまった。何も

かも使い果たしたあとで、その国に大きな飢饉が起り、彼は食べるにも困り始めた。それで、その国のある人のもとに身を寄せたところ、その人は彼を畑にやっ豚の世話させた。彼は豚の食べるいな豆で腹を満たしたいほどであったが、だれひとり彼に与えようとはしなかつた。

この弟は、父親のもとで何の問題もなく暮らしていたでしょう。しかし、自分から言い出して生前贈与してもらい、勝手に出て行って好きなことをし、やがて落ちぶれて豚のえさを食わたいとすら思いつつになり、誰からも見捨てられてしまった。きつ、自業自得だよ」とお思いでしょう。そうなのです。そして、この弟が表しているのは、すべての人の姿なのです。神に造られ、神に愛され、神とともに歩んでいた人間は、自ら創造主なる神に逆らいつつ、神を神とせず、神から離れ、好き勝手に生きています。神でないものを神とし、死者や偶像を生ける神の代わりに拝み、その結果、妬みや不満や寛容やわがままで心はいよいよいになり、夫婦関係、親子関係、職場には混乱があり、それにも関わらず、自分のやりたいことをばかりを追い求め、やがて行き詰める。神を離れたそんな人の姿を、放蕩息子は表しているのです。

けれども話はこれで終わりません。

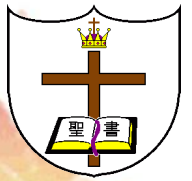
しかし、我に返したとき彼は、「いよいよだ。父のところには、パンのあり余っている雇いが大ぜいいるではないか。そ

れなのに、私はここで、飢え死にしようだ。立て、父のところに行こう」と言おう。お父さん、私は天に対して罪を犯し、またあなたの前に罪を犯しました。もう私は、あなたの子と呼ばれる資格はありません。雇い人のひとりにしてください。」

無力でみじめな状態になった時、弟は父を思い出しました。帰るべきは父のところだと気付いたのです。これが悔い改めです。自分のみじめさ、無力さを認め、帰るべき場所、

天の父である創造主を思い起こすことです。神から離れた人間には平安がありません。本来、人は、自分を造った創造主とのつながりの中で生きる存在です。人間の抱える根本的な問題は、この神とのつながりを失っていることです。親と離れ離れになった迷子は、安と恐れでいつばいびです。他の大人がいくら声をかけ、安心させようとしても、親と再会するまでは安心できないでしょう。同じように、私たちの周りには、「わがまま」の宗教、「これこそ、あなたを幸せにする生き方」「これさえ手に入れば、あなたの人生は大丈夫」といふ声があふれています。それが変わらぬ本物の安心を与えることではありません。多くの人々がそういう声に惑わされ、幾度となく「セモノ」をつかまされ、失望してきた

裏面に続く……



命のパン・バプテスト教会

〒651-1342 兵庫県神戸市北区八多町柳谷877
TEL/FAX: 078-982-1884 携帯: 090-4493-4004
牧師: ワード・ヘンリー (Henry Ward) hforward@gamma.ocn.ne.jp

集会ご案内

日曜	学校	10:00 am
日曜	日の朝拝	11:00 am
日曜	日の夕拝	5:00 pm
水曜	美祈り会	7:30 pm



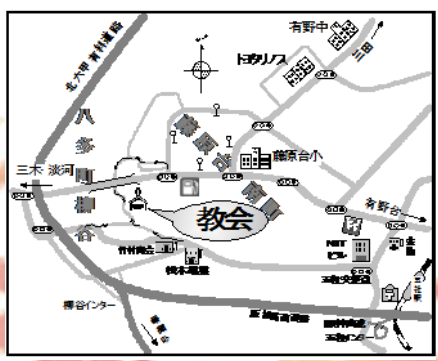
命のパンって何

この文書のタイトルと教会の名前には、「いのちのパン」という表現は用いられていません。なぜですか。宗派の名前ですか。何とどういう意味ですか。どこから来ましたか。

宗派の名前ではありません。宗派の名前は、「バプテスト」と言います。バプテスト派は、アメリカの一番多いキリスト教の宗派です。新興宗教ではありません。聖書から取った表現です。

イエスは言われた。わたしがいのちのパンです。わたしに来る者は決して飢えることがなく、わたしを信じる者はどんなときでも、決して渴かぬことがありません。「聖書ヨハネ六章三三節

聖書を書いたイスラエル人の社会には、一番よく食べた食物はパンでした。それで、パンというのは、「のちを与える物」という意味合いもあります。それゆえ、イエスが何と言っておられたか。人間は、罪を犯すので、神から離れていて、霊的に死んでいきます。しかし、人がイエスを受け入れるなら、イエスはその人に永遠のいのちを与えて下さる。つまり、彼の罪を赦し、彼を神様と和解させて、それから後永遠に神の味方の子として下さいます。



のほなほなしていつか。まじの神への
の帰還のみ、魂の平安はあるのです。
さて悔い改めた弟は父のもとに可か
いませ。

「いつて彼は立ち上がりして、自分の
父のもとに行つた。ところが、まだ家
までは遠かつたのに、父親は彼を見つ
け、かわいそうに思い、走り寄つて彼を
抱き、口づけした。」

驚くべきことに、百パーセント自分の
責任で落ちぶれた息子を、父親は追ひ
返さなはかりか、遠くから走りよつ
て抱きしめました。弟は、用意してい
たセリンを口にします。

「お父さん。私は天に対して罪を犯
し、またあなたの前に罪を犯しまし
た。もう私は、あなたの子と呼ばれる
資格はありません。雇い人のひとりに
しつたぞ。」

しかし、弟が全部を言い切らないにつ
に、父親はしもべた方に言います。

「あなたが父親はしもべた方に言つ
た。息子が一番良い着物を持て来
てこの子に着せなさい。それから手
に指輪をはめさせ、足に靴をはかせ
なさい。そして肥えた子牛を引いて来
てはぶりなさい。食べて祝おうではな
いか。この息子は死んでいたので生き
返り、いなくなつたのが見つかつ
たのだから。」

着物と指輪と靴は、弟をわが息子とし
て受け入れたことの証です。せめて
しもべの一人に思つていた放蕩息子
を、父は、家族の一員として迎えました。
最高の子牛料理で歓待しました。
この父親が表しているのが、聖書の神
です。神はどんな罪人をも、自業自得
で落ちぶれた子牛をも、悔い改めるなら
ば、赦して、抱きしめて、喜んで迎えます。
創造主なる神は、私たちのどんな
罪も過ちも汚れも恥じも赦し、私たち

を受け入れ、神の家族の一員として迎
えてくださいます。その証に、神は最
愛の一人子イエスを地上に遣わし、私
たちの罪の身代わりになり、十字架にかけ
ました。

神は、実に、その一人子をお与えに
なされたほどに世を愛された。それは御
子を信じる者が、ひとりとして滅びる
ことなく、永遠のいのちを持つため
である。【ヨハネ三章十六節】

イエスの十字架こそ、神の愛と赦しの
メッセージです。神は私たちを愛し、私
たちの罪を赦すために、身代わりの犠
牲としてイエスを送ってくださいまし
た。ここに朽ちるものがない不変の愛
があります。イエスを信じ、いつまでも
変わらない神の愛と赦しの中に生か
される喜びを、ぜひ、ご自分のもの
としてください。

終わる

本の紹介



ブルーリボンの祈り
横田早紀江著
フォレストブックス
1260円

方々に祈られていたことを伝えたいという記録を残すことになりました

「この事件がなければ、キリストに出会ふこともなかつたでしょう、クリスチャンになつてもなかつたでしょう。私はいつしか長年、神さまに愛されて訓練していただいた今日があることを、心から感謝して言います。」 (本文より) 横田早紀江

北朝鮮の拉致により娘めぐみさんを奪われた母 早紀江さんは、深い悲しみと苦悩の中から聖書に出会い、クリスチャンとなった。どんな苦難の中にあつても希望を持つて生きる。横田早紀江さんと長年にわたり彼女を支え続けてきた友人たちが綴る感動の手記。

私は、いつの日かめぐみが帰ってきた時に母は、こういう中であつた。このようにすばらしい神さまの御手にまつて守られてきたと聞いて、めぐみへの

行事のカレンダー

10月の行事

- 14日(日) 10:00, 11:00 特別講師
三宮聖書バプテスト教会の脇研先生
- 21日(日) 収穫の日曜日(食事)
11:00の朝拝の後、交わりの食事

11月の行事

- 11日(日) 10:00, 11:00, 5:00 特別講師
西舞子バプテスト教会の表先生
- 18日(日) 感謝の日曜日(食事)
11:00の朝拝の後、交わりの食事

12月の行事

- 5日(水) 10:00~11:00 婦人会
リース作りパーティー
- 22日(土) 10:00 クッキー作りパーティー
子どもと両親はクリスマスクッキーを作る
- 23日(日) 子どもの劇と特別クリスマス集会
10:00クリスマス劇、11:00特別礼拝
12:30クリスマス食事 17:00キャンドル集会
- 24日(月) 中高生クリスマスパーティー
17:00~20:00 食事、ゲーム
- 30日(日) 特別年末礼拝
11:00朝拝、17:00夕拝
- 31日(月) 除夜集会
20:00~00:30 信念を歓迎する特別集会

- 英語教室があります。
- 婦人は毎月2回ぐらい行われます。そのスケジュールは毎月変わります。

もし、興味がありましたら、電話かメールでお問い合わせ下さい。

ワード家の一言挨拶

私たちは北神地域で14年ぐらい
キリストのメッセージを伝えてお
ります。教会は家庭生活を築くた
めのものです。家族として教会に
来て、神様の教えを聞いてみて
下さい。お待ちしております。

よろしく!



朝拝の説教

新しく作られた者として
暮らす事の話し

夕拝の説教

へブル人への手紙11章のシリーズ
信仰の生活の話し

水曜日聖祈り会の書学び

民数記を一章一章学ぶシリーズ

私たちの教会は正統的・聖書的な
キリスト教会です。「バプテスト」と
いう宗派はアメリカの一番多い宗
派で、各集会に必要なものを教会
に準備しておりますので、ご自由
に安心してお越し下さい。何でも
気軽にお問い合わせ下さい。

エホバの小人、統一教会、モルモン教、他の新興宗教などは、
一切関係ありません。